

都小社研6年部会研究の内容について

- 都小社研の研究主題 「社会とつながり未来を創る子供の育成」
副主題 「社会的事象の見方・考え方を働かせ、主体的に問いを追究する学習を通して」

○6年部会の目指す児童像

我が国の政治、歴史、国際社会における役割の確かな理解を基に、社会的事象の意味や特色について多角的に考え、我が国の未来を考えようとする子供の育成

○6年部会の研究内容の重点

研究内容①	研究内容②	研究内容③
<p>○問いの連続性や構造化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元内、単元相互における問いの関連性の工夫 ・議論を通して考えを深める問いの設定 	<p>○比較・分類・関連付け・総合して考える学習活動の工夫</p> <p>○対話を通して多角的に考える学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会における対立や矛盾、葛藤を感じる場の設定 ・多様な価値について立場を決めて話し合う場の設定 	<p>○学習の見通しと振り返り(集団的な学習調整)の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートやワークシートの書かせ方・見取り場面設定 ・既習を生かして新しく問を見出す場面の設定

※青い部分は、「武士の世の中へ」の実践で取り組んだ重点内容

○研究の内容と木村先生の授業の関連について

<研究内容①について>

- ・単元内における問いの連続性

○武士はどのようにして、勢力を伸ばしていったのだろうか。

○源氏は平氏を、どのように破ったのでしょうか。

○源頼朝は、どのようにして武士を従えていったのでしょうか。

○鎌倉幕府は、どのようにして元軍と戦い、その後はどうなっていたのでしょうか。

⇒共通して、為政者はどのようにして政策を実行したのだろうか。

◆問いの連続性に近いが、難しい場面もあるので関連性として部会では柔軟に捉える。

- ・単元相互における問いの関連性

○聖徳太子の死後、だれが、どのように国づくりをしたのだろうか。

○この時代に登場した武士は、どのようにして政治をしたのだろうか。

○織田信長、豊臣秀吉は、どのような政治をしたのだろうか。

⇒共通して、どのようにして政治を行ったのだろうか。

- ◆政治先習を生かした問いの工夫といえる。
- ◆時代相互における政治の特徴の相違性、同意性（関連性）を比較できる。

<研究内容②について>

調べてきたことを比較・分類・関連付け、総合して考える学習活動の視覚的に捉えるために、「関係図」を活用する。「為政者」「政策」「国民（庶民）」「外国とのかかわり」の4つの視点で、調べたことをそれぞれの時代にまとめさせることで、「政治」という国の在り方をキーワードにしながら、児童の考えを深めることができると考えた。

<研究内容③について>

既習を生かして新しく問いを見出す場面という部分を共通理解していく必要がある。既習の政治の学習を生かし、それを比較させて考えをまとめることで、その先の歴史の学習にもいかすことができる。